



1月24日

「2021年度営業関係施策（その2）」についての申し入れ

東地申34号

【我孫子駅】団体交渉を行う！

1. 我孫子駅ホーム体制を見直す目的、考え方を明らかにすること。

回答：グループ経営ビジョン「変革2027」、「駅の変革」のスピードアップに向け、効率的でより生産性の高い業務執行体制を構築し、当社グループの持続的成長につなげていくため、駅の運営体制の見直しを行うものである。

◆常磐線、成田線の安全・安定輸送における我孫子駅の役割は？

◆ライフサイクルで、駅で業務する社員の役割は変わらないか？

◆施策実施後、安全・安定輸送のレベルは低下しないという認識か？

組合

会社

◆我孫子駅は、連結・併合や常磐線、成田線との接続、運転整理等を担う駅であり、特殊な業務を行う拠点駅という認識である。

◆ライフサイクルで、駅で業務する社員の役割は変わらない。

◆安全・安定輸送のレベルは維持出来るという認識。

2. 輸送障害発生時の対応について、運転整理、信号、内勤、改札の役割を明らかにすること。また、我孫子駅輸送業務に必要な知識、技能を有する社員育成の必要性、具体的育成方法について考え方を明らかにすること。

回答：異常時においては、駅総体で対応することとなる。なお、引き続き必要な教育は実施していく

組合

会社

◆輸送障害時の役割を示すこと。

◆改札社員の対応の考え方を示すこと。

◆社員育成は重要な課題と認識している。我孫子駅輸送業務に必要な知識、技能を有する社員育成の考え方を示すこと。

◆駅総体で対応する。業務輻輳時は役割分担をして対応する

◆改札社員は、列車見張員訓練などの資格取得を行っていく。列停の教育は行っていないため、現段階では対応出来ない。

◆社員の育成は重要だと考えている。必要な教育を行なっていく。

3. 天王台駅で、人身事故等輸送障害が発生した場合の我孫子駅の役割について、考え方を明らかにすること。また、同障害発生時、我孫子駅において天王台駅への応援、お客さま案内、運転整理、常磐線と成田線の接続対応、分割・併合業務等が十分に行える体制とするため、我孫子駅ホーム体制は現行とおり「4テ」とすること。

回答：我孫子駅の役割は変わるものではなく、提案の体制で対応可能と考えている。

◆異常時対応力は施策実施後も現行と変わらないという認識か

◆天王台駅で人身事故が発生した場合の対応の考え方と我孫子駅で対応する社員の役割は？特に我孫子駅にのこる社員が少なく、運転整理と接続を行える人数がいらない。どのように対応すれば良いのか。

◆説明が出来ていない。異常時対応は課題だと認識している。現場で社員への説明は確実にすること。

組合

会社

◆異常時対応力は、著しく低下しないという認識。

◆我孫子駅に残って対応する社員で、駅総体で対応する。いる人でやってもらうしかない。

◆応援に行くタイミングをずらすなど、工夫して対応していく。現場では説明を行う。

異常時対応に課題があるのに、なぜ2テ1変に？

安全・安定輸送が確保出来る体制を求める！

4. 我孫子駅における安全の確保及び社員がゆとりを持って働ける環境を整備する観点から、社員の意見を基に必要な設備を設置すること。

回答：必要な設備の整備は行っていく考えである。

◆ホームの状況が分かるモニターを改札口に設置すること

◆ホーム事務室にATOS端末とデスを設置すること。

組合

会社

◆改札口にはモニターを設置する考え。

◆一部撤去を考えているが、社員の意見を踏まえて検討していく。

今後も異常時対応を含めた体制や教育と設備の拡充を求めていきます！